

2017年12月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

函館

HA K O D A T E

青函親善野球大会

日時：平成29年10月14日(土)15日(日)

午後2時プレイボール

場所：青森開催

記憶にも新しい第6回全国歯科医師野球大会より1週間後…。青森歯科医師会との懇親を深めるために毎年行なわれている標記大会が行なわれた。(昨年は青森の先生方にご来函いただいたので、今回は函館歯科医師会が青森に行く番だった) 函館―青森間は新函館北斗駅より新幹線約1時

間の距離。私の隣の席は、向山英明 先生・川瀬敬先生だったが、1時間ただただ向山先生の講演会(マシンガントーク)を聞いているうちにアツという間に青森に着いた(笑)

青森に着くやいなや、まずは青函野球大会。函館チームで、攻守共に安定していたのは宮本将史先生だった。私、鍵谷も今期より函館歯科医師会野球部に入部させてもらい、練習含めて計4回目と不安の中での出場だったが、先発で奮闘させていただいた。

しかし、今回は残念な事にファインプレーが目立って見られたのは青森側だった。青森歯科医師会公式戦、初スタメンの秋元先生の3度にわたるレフトフライキャッチ。三浦雅文 先生のセカンドライナーキャッチ。青森の各選手にほぼミスは見

られない中、唯一気を遣ってくれたのはショート滝沢仙太郎 先生の接待エラーでしょうか？笑。

函館が反撃に出たのが4回裏、昨年の函館開催青函親善試合に続いて、2年連続で宮本将史 先生のホームラン(今年はランニングホームラン)で盛り上がりを見せ、MVPは宮本先生」と誰もが思っていた。そこで、代打平田 充 先生が打席に…。ど真ん中のストレートを2球続けて見逃し、ツーストライク。誰もが3球ストレートでのアウトを覚悟したその時だった。予想だにしない高めのボール球に手を出し…。まさかのランニングホームラン！その良い流れで函館も追いつけるが、時すでに遅し。結果14対5で大敗だった。

少し心配なのが、函館エースピッチャー田中賢司 先生の連投による右手全体に謎のアザ。そし

て、さらに謎なのが中野敏昭 先生の直前練習での球拾いでアキレス腱を痛め、本番無念のリタイヤ。

野球大会が終わり、函館のMVPは平田 充先生だった。平田先生は試合に出ると必ず記録と記憶を残す。今後も期待の選手である。

翌日には今回、函館歯科医師会が唯一主催したお食事会。田嶋会長オススメのうなぎ屋「川よし」にて絶品のうなぎを食し、誰も乗り遅れることなく帰りの新幹線へ。なんと！またまた隣の席は向山先生。1時間に渡る、続・講演会を聞きながら、あつという間の函館着。皆さん無事に帰路に着いた。

(鍵谷 毅 記)



札幌

S A P P O R O

在宅医療を担う歯科医師の人材育成に係る研修会

日時：平成29年10月5日(木) 午後7時より

場所：札幌会館

この研修会は、札幌市の委託事業として昨年度より開催されており、在宅歯科医療に取り組む歯科医師の技能向上を目的として開催されている。今回は実際に訪問診療を行なっている、鈴木内科循環器クリニック院長の鈴木真一郎 先生を講師



として迎え、在宅医療全般における現状ならびに問題点、歯科医師との連携体制を構築するうえでの留意点について、講演いただいた。

この研修会は、今年度内にもう1度開催される予定ですので、今回出席された先生のみならず、新たに在宅歯科医療を始められる先生、すでにこなっている先生方におかれましても、治療内容などを再確認する絶好の機会となりますので、ぜひ

ご参加ください。(高橋一行 記)

介護・口腔ケアセミナー

日時：平成29年10月6日(金) 午後6時より

場所：アスティ 45

本年度で6回目となる「札幌市高齢者口腔ケア研修事業介護・口腔ケアセミナー」が開催された。今回は「多職種連携で取り組む誤嚥性肺炎の予防～口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション～」と題して、藤田保健衛生大学医学部歯科教室でご活躍されている松尾浩一郎 教授に講演をお願いした。

本研修会は、医療・介護従事者や施設職員などを対象に行なわれ、看護師や社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパーの方など210名が参加された。

講演では、実際に食事を行なっている際のV F(嚥下造影)動画を用い、食品の形態や性状による違い、あるいは健常者と嚥下異常の差異についても詳細に解説していただいた。

また、ご自身が勤務する大学病院での取り組みとして、口腔アセスメント・ツール(OHAT)の活用事例についても紹介いただいた。

(高橋一行 記)



美唄

B I B A I

平成29年度美唄歯科医師会障がい者歯科医療連携推進事業講演会開催

日時：平成29年10月18日(水) 午後6時30分より

場所：美唄ホテルスエヒロ

標記講演会が開催され、講師は北海道空知総合振興局保健環境部保健行政室の新里勝宏 先生にお願いした。内容は、データから見る歯科保健医療と地域における在宅歯科医療の方向性― 8020 歯つびいプランの評価も交えて― という題で行なわれた。

日本、北海道の人口の推移から始まり、3 歳児・

12歳児むし歯有病率の年次推移、また、北海道の現状と全国平均との違い、80歳で自分の歯が20本以上ある人の割合(8020)、歯科訪問診療・在宅医療連携室整備事業についても教示いただいた。

また、北海道が行なっ



ている歯科保健医療推進計画の概要から今後の方向性についても講演され、大変わかりやすく説明していただいた。この中では、平成17年の歯科疾患実態調査で8020達成者が初めて20%を超えたが、28年には51.2%であったということには驚いた。

講演終了後には、少人数ではあったが、和やかな懇親会が行なわれ、盛り上がった。(川上譲治 記)

旭川

A S A H I K A W A

旭川歯科医師会役員防災研修会

日時：平成29年10月15日(日) 午前10時より

場所：旭川歯科医師会館

旭川歯科医師会役員を対象とした防災研修会を開催した。

講師に、防災士の及川太美夫 氏をお迎えし、「歯科医師会における災害対策を考える」～起こり得る災害からその対応に向けて～をテーマに、講演会およびワークショップ形式の研修を行なった。

今回は、第一に旭川で起こり得る災害を知り、

その時にどのような対応や行動を必要とするか、現時点における課題の抽出とその対策を考えること、第二に歯科医師会役員の求める災害対策本部体制の共有化を目指すとともに、防災意識の高揚を図ることを目的とした。前半はスライドで研修、後半はビブスを着用して図上研修を行ない、旭川ならではの考え得る災害を参加者全員で挙げてみた。海のない地域であることから津波・高波は出せなかったが、他国のミサイル攻撃による災害やテロによる災害など、少し前までは日本では考えられなかったことも挙げられた。

災害想定シナリオは、日曜日の早朝、台風の影響で市内河川の堤防が一部決壊。一部地域に避難指示が発令。対象地域住民約750名が複数の指定避難所に避難しているが、さらに増える状況。市の

災害対策本部の巡回医療チームから旭川歯科医師会に医療救護活動の応援要請が入り、旭川歯科医師会でも災害対策本部を設置した。市内全域で断水、中小河川も氾濫し、至る所で道路が冠水している。このようなシナリオで図上訓練を行なった。本部チームと救護活動チームに分かれて、さまざまな状況を想定して何を持っていくか、どういうルートを通るか、チーム編成はどうするか、二次災害はないか、何を優先するべきかなど実践に即した状態で研修を行なった。常備すべき必要最小限度のものが、ある程度わかったものの、課題はたくさんあり、今後に検討される事項を一部ではあるが抽出できた研修会だった。

郡市区レベルではまず行なわれない災害訓練や研修。日歯・道歯による「災害時のマニュアル」は

あるものの、その土地・地域に合ったものが何なのか、地元の郡市区歯会が



把握していなければならないと誰しもが思っていることである。私も当初は「マニュアル作り」に躍起になっていたが、結局壁にぶつかった。そこで、実動して問題点などを抽出しつつマニュアルを作成・修正していく方向に変えていく。そして、歯科医師だけではなく、防災に長けている地元の防災士を巻き込み、災害に対する研修を積み重ねることによって知識を深め、共有し、自分たちのものにしていくことが必要であると感じた。

郡市区の関係者の皆さまにはぜひ参考にしていただきたいと思う。(森田琢博 記)

空知

S O R A C H I

障がい者歯科関連講習会

日時：平成29年10月28日(金) 午後3時より

場所：滝川ホテル 三浦華園

講師：札幌麻生脳神経外科病院

言語聴覚士 源間隆雄 先生

「医科歯科連携・多職種連携に向けて」―言語聴覚士の食支援と口腔アプローチ―と題して、講演していただいた。

言語聴覚士が行なう口腔ケアと口腔リハビリ

を臨床でどのように行なっているか、困難症例を通じて、栄養療法の観点から教えていただき、摂食嚥下障害のスクリーニング検査(反復唾飲みテスト・改訂水飲みテスト・食物テスト) 舌や口唇のストレッチなどの実習を行なった。

医科歯科連携・多職種連携に向けて、参加していただいた行政・病院・施設の方々も満足してい

ただけた、大変有意義な講習会となった。

(伊藤公博 記)



留萌

R U M O I

お口と歯の健康キャンペーン

日時：平成29年11月3日(金・祝)

午前10時から午後1時

場所：留萌振興局 1Fホール

標記のイベントを開催し、無料歯科検診、無料

フッ化物塗布、ブラッシング指導、歯とお口の健康相談、保健指導コーナー、栄養相談コーナーの各コーナーを設けた。



当日の天候は雨で気温も低く、来場者の減少が予想されたが、100名程、足を運んでいただいた。来場者は、各コーナーで熱心に担当者の説明を聴いていて、充実したイベントになった。

(江畑 育太郎 記)

日高

HIDAKA

救急救命講習会

日時：平成29年10月14日(土)
午後12時から午後2時45分
場所：新ひだか町地域交流センタービュアプラザ 2階 多目的室
講師：日高町立門別国民健康保険病院
院長 大友 透 先生

日高歯科医師会主催で今回が9回目の開催。インストラクターは、大友 透先生、倉茂秀平先生、日高管内の看護師、救急救命士



と救急救命士だった。はじめに一次救急救命の概略について、説明とデモがあり、その後、各ブースに分かれて、心肺蘇生法やAEDの使用法について、トレーニング用マネキンを用いて実技を行なった。次に、倉茂先生から歯科治療中に生じる急変とその対応についての講義があった。そして、実際の診療室で口腔内落下物での窒息状態を想定しての窒息解除方法や、ユニットから患者さんを安全に動かす旨のデモがあった。(谷本 亮 記)

日高歯科医師会主催 平成29年度社保講習会
日時：平成29年10月14日(土) 午後4時より
場所：新ひだか町コミュニティセンター 研修室
講師：全国保険医団体連合会 副会長 田辺 隆 先生
標記講習会を開催し、一昨年、昨年に続き、田辺 隆 先生を講師にお招きした。

平成28年度の診療報酬改定から一年半が経過し、新設された項目や算定の仕方・取扱いが大きく変わった項目についての疑義解釈も出揃った。しかし、これらを自分一人で理解することは、かなり困難と思われる。このように難解な平成28年度改定だったが、本講習会では、要点をまとめたテキストを使いながらの適切な解説と、それに対応する疑義解釈や指導時の指摘事項などのお話もあり、さらに理解を深めることができ、あっという間の2時間だった。土曜日の午後4時開始という時間にもかかわらず、19名の会員が参加し、関心の高さが感じられた。講習会後、町内で懇親会が行われた。(青山哲也 記)



平成29年度 第7回日高歯科医師会ゴルフコンペ
日時：平成29年10月29日(日)
場所：平取カントリー倶楽部
今年度7回目のゴルフ部の活動が行なわれた。台風が接近しつつある曇り空のもと、7名のゴルフ部員が集まった。中村ゴルフ部部長からの今年最後の開会宣言でコンペがスタートした。結果は、井上達也 先生が優勝し、インは39だった。準優勝は、西川一雄 会長で、二日酔いで頭が痛いと言いながらの83だった。三位は、中村秀人 先生だった。小雨がばらつく中、最後まで天候はもった。今年度も怪我なく、無事にコンペ終了となった。来年度のコンペでの再会を約束して、平成29年度の活動を終了した。(青山哲也 記)



千歳

CHITOSE

千歳歯科医師会主催医療管理講習会

日時：平成29年9月29日(金) 午後7時より
場所：エニケンビル 3階会議室にて

千歳歯科医師会主催の医療管理講習会が開催され、講師に弁護士 関口和矢 先生をお招きして、演題「患者からのクレームにどう立ち向かうべきか」について講演していただいた。

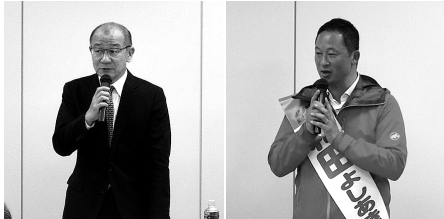


講師の関口先生は、ご家族、親戚関係者に歯科医師、歯科衛生士など歯科関係者が多く、今までに50件の歯科関連の事故対応をされている。道内では年間100件の事故クレームが発生しており、未報告のケースはもっと多くあるようだ。言った言わない論争ではこちらが負けるため、細かい証拠記録、同意書が必要。事故発生時の行動記録、時間などのメモ書きが大切。初動で失敗すると泥沼化、長期化するため、早く歯科医師会や損害保険会社へ相談して、アドバイスに従って弁護士に任せることが重要。謝罪の気持ちと事故対応を第三者に任せるのは別問題なので役割分担と考えることなど、患者さんとのトラブル発生した際にどうやって対応すべきかを

解説していただいた。初期に適切な対応をとることができるかで、その後の流れが大きく変わるそうだ。下顎智歯抜歯事故では歯科医師側の説明不足が原因となることが多く、手術という意識をもって、説明を受けたことを確認する書面の作成が必要になる。オルソ・デンタルは必ず撮り、必要であればCT撮影のできる医療機関へ紹介する。事故発生後、転送先の後医の安易な言動が紛争発生の原因になることも多いため、前医の批評は言わないほうがよいとのこと。インプラントのトラブルでは、術中の事故とインプラント周囲炎悪化による早期脱落があり、患者さんは高額なので、ずっと自分の歯のようにもつと思ひ、10年もったとしてもダメになったらおかしいという誤解があり、説明不足が原因となる。CT撮影していない、同意書がないとトラブルになった時に困る。悪質クレーマーに対しては、当事者同士の感情のぶつかり合いを避け、独断での対応をやめること。相手の自宅やファミレスに呼ばれた場合は絶対に行かず、まず相談すること。マジックワード「全て弁護士に任せているのでお答えできません。弁護士に連絡を取ってください」を繰り返すとのこと。「いずれも事前の説明をしっかりと、トラブル発生時には記録をとり、うまく取り繕ってお金を返したりせず、自分だけで抱え込まずに早期に相談することが重要である」と力説されていた。(田村 基 記)

千歯主催社保講習会並びにデンタルタウン

ミーティング2017 in 千歳歯科医師会
日時：平成29年10月20日(金) 午後7時より
場所：エニケンビル 3階会議室にて
千歳歯科医師会主催社会保険講習会、午後8時30分よりデンタルタウンミーティングが開催された。社保講習会は、講師に道歯 中川英俊 常務理事をお招きし、解説していただいた。署名・押印、月締め記載、病名、未収金などカルテ記載について。指導・監査の実施状況。初診料算定のできない場合。院内掲示物について。歯管、デンタル・パノラマ、投薬、歯リハ1、コア・ポンティック除去など算定誤りの多い事例。病名不備。暫間固定、新製義歯と即時義歯の取り扱いなど。指導に対応、法的に耐えうるカルテ記載について説明があった。社保講習終了後、午後8時25分から衆院選で北海道第5区から立候補した自民党 和田義明氏の挨拶があった。和田氏は22日の開票結果、接戦を制し、当選した。午後8時30分から道歯から藤田会長、長江副会長、大西専務をお招きし、デンタルタウンミーティングが開催された。藤田会長の挨拶のあと、北海道歯科医師会における、これまでの取組と今後の課題について、



千歳支部の未入会率が高いこと、会館問題、国保組合の国庫補助が段階的に引き下げられ今後保険料が値上がりする件、11月分レセプトから医療費通知書の内容が一部変更されることの注意点などについて説明があった。その後、質疑応答が行なわれ、長江副会長の挨拶があり、午後9時50分に終了となった。(田村 基 記)

津田栄継 先生(恵庭市)『恵庭市功労者表彰』された
日時：平成29年11月1日(水)
場所：恵庭市民会館
当会の津田栄継 先生(恵庭地区)が「恵庭市功労者表彰」を授与、「保健衛生」部門で選出された。先生は恵庭市学校歯科医として33年間にわたり従事され、保健衛生の振興と発展に貢献されたことが認められ受賞された。先生からは「来年からは若い先生が多く入会してきたので、後を託します」との言葉をいただいたが、「笑顔」とともに「寂しさ」もあったように感じた。津田先生おめでとうございます。(高津良二 記)



十勝

TOKACHI

十勝歯科医師会写真同好会(TDPC)家族野遊会

日時：平成29年10月9日(月・祝)
場所：新得町周辺

TDPC恒例の家族野遊会が爽秋の「体育の日」に行なわれた。毎年、趣向を凝らすTDPCの野遊会だが、今年のテーマは「紅葉と旧国鉄根室本線“哀愁の旅”」と題して、新得町周辺を貸切バスで巡った。



あいにくの曇り空ではあったが、幸いな事に雨には当たらず、旧狩勝線跡の小笹川橋梁、紅葉で綺麗な景色のサホロ湖、屈足湖を皆で散策した。昼食は新得町内にて地元・吉村先生のお計らいで予約していただいた焼き肉店を会場に懇親会が行われた。美味しいお肉と適度なアルコールも入り、今回の写真スポットや家族の話、また、外来環・か強診など施設基準の取得といった、さまざまな話題で大いに盛り上がった。そして…この家族野遊会初参加の小澤先生、いろいろとお世話いただいた吉村先生、広報理事の私(南館)の3名が新たにTDPC入会となった。今後とも、よろしくお願いします！(南館直人 記)

「食べる大切フェスティバル2017」 in 帯広
日時：平成29年10月8日(日)

午前10時から午後3時
場所：アグリアリーナ(音更町)
例年恒例の行事が行なわれ、この事業はコープさっぽろが主催する行事で、多くの方が来場される。今年は過去最高の3,721名が来場され、出店数は50以上と大盛況だった。十歯会は地域貢献として、毎年参加している。歯科相談、歯科医師会の活動の紹介、オーラルフレイル等の歯科の啓発活動、帯広コア学園の歯科衛生士の紹介等を行なった。例年、無料サンプルを配っているため、当コーナーも評判が良く、約800名の来場者がいた。当歯科医師会のメイン行事の一つであり、次年度以降も続けていきたい事業である。



十勝歯科医師会設立70周年記念事業 全体会議

日時：平成29年10月16日(月) 午後8時より
場所：十勝歯科医師会館 2F講堂

十歯会は昭和22年11月1日に社団法人として設立以来、今年で70周年を迎える。それに伴い、11月に設立70周年記念事業として講演会・記念式典・祝賀会を開催し、記念誌を発行する運びとなった。6月下旬から各事業の部長・副部長を中心とし



て準備が進められてきたが、本日、各部に部員として配属された先生方が一堂に会して各部の連携をはかり、最終的な事業内容の確認および、すり合わせの全体会議が行なわれた。十歯会では50周年・60周年に続き、三度目の周年事業となるが、部員の中には経験のない若手の先生方も多く、70周年事業を間近に控え、各部への意見交換等の活発な話し合いがもたれた。(南館直人 記)

第6回全国歯科医師野球大会
日時：平成29年10月8日(日)・9日(月・祝)
場所：東京・大井町頭中央海浜公園
十勝は、昨年に続いての全国大会出場。道代表として恥ずかしくないプレー、そして昨年の全国3位以上の成績を目指し、大会に臨んだ。予選リーグでは長野選抜、四国連合との対戦。第1試合は十勝 VS 長野選抜。先攻の我がチームは4回表まで2対0とリードするも、その裏に逆転され2対5での黒星スタート。第2試合、四国連合が長野選抜を4対2で破り、十勝に予選突破の可能性が出た。第3試合、決勝トーナメント進出をかけた四国連合との対戦。結果は10対3で快勝。得失点差で予選突破か？と思われたが、今回からルールが改正され失点差での判定。長野選抜より失点が1点多く予選敗退となった。その後、長野選抜が優勝。懇親会の壇上にて長野選抜の監督が「試合には勝ったが一番強いのは十勝チームだと思う」との

スピーチ。嬉しいリスペクトをいただき、道代表として恥ずかしくないプレーは果たせたが、「来年こそは優勝」と胸に強く誓ったチーム一同であった。(板橋基雅 記)

デンタルグリーン会納会
日時：平成29年10月1日(日) 午後6時より
場所：大庄水産 帯広店
ゴルフの腕に覚えのある十勝の歯科医師が集結して、ゴルフナンバーワンを決める熱き戦いが、今年も4月から10月にかけて、全7回開催された。今年もさまざまなドラマが生まれたデンタルグリーン会。その中でも今年見事、年間優勝者を果たしたのは板橋延勝 先生だった。デンタルグリーン会では最年長の板橋先生だが、7回のゴルフ大会で優勝1回、準優勝1回、3位1回と常に上位入賞しており、一年間をつうじてスコアが崩れない安定したゴルフをされていた。板橋先生、おめでとうございます。納会は帯広市内の居酒屋で開催され、年間表彰式と来年の全道歯科医師ゴルフ大会の話し合いも行なわれた。来年は十歯会が、全道歯科医師ゴルフ大会の主管となる。皆様ぜひぜひ、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。(今井 崇 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

学術講演会

日時：平成29年10月20日(金) 午後7時より
場所：いわなび
講師：北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系デジタル歯科医学 教授 足田一洋 先生
演題：「デジタルデンティストリーが歯科臨床を変える」

昭和63年春、北大第二補綴学講座に入局した私は、石膏模型を1mmずつ計測し、巨大なコンピュータでデータ解析している1年先輩の足田先生を、少々気の毒な思いで見ている。臨床応用には、それはそれは長い道のりだと感じたからだった。当の足田先生も挫折の時期はあったと仰るが、成功



や失敗、出会いや異動、ITや材料の進歩、社会の変化など、いろいろな年月を経て、平成26年、この北海道生まれのCAD/CAM冠がついに保険診療に導入された。全く予想外の出来事に、当時を知る私としては非常に驚いた。

この日の講演はそんな背景から、各社レジンブロック製品の強度や特徴、合着セメントとの相性、サンドブラストのすすめ、ジルコニアの特徴、技工所の女性進出と働き方改革、大白歯や義歯への応用など、とても明るい未来が感じられるお話だった。

口腔内カメラで、さっとスキャンして、データを技工所に送信し、数時間後には補綴物が届けられる、そんな時代もそう遠くないかもしれない。そんな希望に溢れた講演会があった僅か4日後、当時の第二補綴教授 内山洋一先生がご逝去された。合掌。(久恒泰宏 記)

保険勉強会

日時：平成29年10月27日(金) 午後8時より
場所：いわなび
当会 清水 学 理事・山口友隆 理事が管内の各地方に赴き「少人数制」の保険勉強会を行なう事業が例年好評を得ている。先日行われた会員アン

ケートでも、この事業の継続に対する支持率は8割以上であった。

今年は9月7日(木)栗山(午後7時30分より)、9月27日(水)南幌(午後7時30分より)、10月27日(金)岩見沢①(午後8時より)、11月9日(木)岩見沢②(午後7時30分より)、11月11日(土)由仁・長沼・夕張(札幌で開催、午後4時30分より)の日程で行なわれる。この日は岩見沢で行なわれる2回のうちの1回目で、16名の会員とスタッフ等2名が出席した。今年度の内容は歯周病、特に「SPT」に照準を当て、算定のルールや注意点を知り、理解を深めることを目的としている。来年4月から介護保険も電子請求義務化になるが、紙媒体で請求したい場合は届出を行わなければならない。

みなし指定になっている医療機関には通知により簡単だが、そうでない医療機関は注意が必要だ。(久恒泰宏 記)

BLS&DCLSコース

日時：平成29年10月29日(日)



午前10時から午後1時

場所：ホテルサンプラザ

ここ数年、身内や知人が何らかの急性症状で倒れたことや、私も公共施設で意識消失の場面にたまたま遭遇したことがあり、この講習会は3度目になるが、かなり切実な思いを持って受講した。

緊急時の正しい診査診断は容易ではなく、アクシデント直後10分間の一次救命が刻一刻と患者の生死や予後に大きく影響し、それが自分の診療現場であれば、その初期対応の良し悪しが、当該患者はもちろんのこと、医院やスタッフを守ることにもつながる。

実習を含む3時間はあっという間に経過し、最後に修了証を受取った。実際の現場でも適切かつ迅速に対応ができるよう、常に準備を怠らない構えは肝要だ。

自分のパートナーだって一生何も起きないとは限らない。ガイドラインは変化しており、受講経験の有無にかかわらず、お勧めの講習会である。



(久恒泰宏 記)

後志

SHIRIBESHI

第6回後志デンタルゴルフ

日時：平成29年9月30日(土)
場所：余市 エーヴランドゴルフクラブ
出席者：練合、菊地、中川、原、中村、土方、長澤 雨上がり、きれいな虹のかかった最終戦。首位長澤に土方が迫る。



前半、今ひとつの長澤に対し、ハーフ40の好スコアで去年の神ってる土方の再現か？と思わせ、長澤の顔はドンヨリ。しかし、後半失速し、2年連続1打差に泣いた長澤が、悲願のメダリストを最終戦も優勝で飾った。

一方、メダリスト争いとは、無縁のやさぐれ組は、4人全員OBスタートと、グダグダゴルフで涼しい顔で祝杯を挙げている長澤の隣で、ヤケ食い気味の昼食となった。(原 公一 記)

野球部・ゴルフ部合同納会

日時：平成29年9月30日(土) 午後5時30分より
場所：余市町 ホテルエーブランド
出席者：練合・原・土方・柏谷・中川・井筒・中村・山田・長澤・五十嵐

山田先生力作のDVDをみながら大いに盛り上がった。五十嵐が考えた余興はコップの線まで、目隠しで飲んだ量をあてるもの。最初の組で練合

会長がぴったリ賞！優勝の日本酒を持ち帰った。(五十嵐 豊 記)

第一回学術講演会

日時：平成29年10月5日(木) 午後7時30分
場所：倶知安町 ホテル第一会館
講師：北海道医療大学歯学部う蝕制御治療学 教授 斎藤隆史



北海道医療大学歯学部の斎藤隆史先生をお招きし、「ミニマルインターベンションに立脚した審美歯科治療」という演題で講演いただいた。講演会は井筒副会長の開会の辞ではじまり、後歯会 練合会長の会長挨拶、斎藤先生の講演、質疑応答ののち、会長謝辞、中川副会長による閉会の辞で終了した。



当日は22名の参加があり、日常臨床で頻度の高いCR治療について、侵襲を最小限に抑えた上でいかに審美に配慮していくか、改めて考えるきっかけとなった。(高野秀喜 記)

平成29年度 ボウリング部 10月月例会
日時：平成29年10月28日(土)
午後4時から午後6時
場所：ファミリーボウル岩内

今大会は年に一度の本大会。賞品は全て前日精米したての蘭越産「ゆめびりか」と「ななつぼし」。優勝は土方先生。25kgオーバーの新米を持ち帰った。

苫小牧

TOMAKOMAI

平成29年度 第3回苫小牧歯科医師会ゴルフコンペ

日時：平成29年9月10日(日)
午前7時51分スタート
場所：早来カントリー倶楽部

すっかり涼しくなった秋空の中、標記ゴルフコンペが開催された。今年の苫小牧歯科医師会ゴルフ部コンペも今回を含めあと2回となってしまった。写真はスタート前の参加者の皆さんでの1枚である。(関 俊也 記)



健康フェスタとまこまい2017全体説明会
日時：平成29年9月20日(水) 午後7時30分より
場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室2

例年11月の「いい歯の日」にちなんで「歯の健康まつり」が行なわれていたが、本年は苫小牧市主催の「健康フェスタとまこまい」へ歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会がそれぞれブースを出すこととなり、その概要について説明を行なうべく、標記説明会が出動会員にむけて行なわれた。

「健康フェスタとまこまい」は、以前から行なわ

れていたが、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会として、このイベントに参加するのは今年が初めてとなった。



説明会では役割分担、前日準備に関する説明、当日の実施要項など説明があり、説明会の4日後に本番となる「健康フェスタとまこまい」にむけて、手順の確認を行なった。(関 俊也 記)

苫歯野球部納会

日時：平成29年9月22日(金) 午後7時30分より
場所：居酒屋烏亭

9月10日(日)に苫小牧歯科医師会野球部、最後の練習試合があり、本年度はこの納会をもって、野球部の行事は終了となる。1年の締めくくりとして納会が開催された。

今年は練習日と悪天候が重なり、十分な練習ができずに野球大会本番を迎えることとなり、十分に実力を発揮できずに終了してしまっただけであった。

若菜野球部部長の乾杯の発声の後、1年のお互



いの健闘？を称え合い、宴が進行し、最後には石澤総監督から今年1年の総括を、高松Aチーム監督から今後の野球部としての取り組み、姿勢についてコメントが、木村Bチーム監督から来年への抱負の言葉があった。

来年の函館大会では今年度以上の活躍を誓い合い、豊巻先生による乾杯で宴は終了となった。皆さん、来年もがんばりましょう！(関 俊也 記)

健康フェスタとまこまい2017

日時：平成29年9月24日(日) 午前9時より

場所：苫小牧市民会館

本年度より11月に行なわれていた、苫小牧歯科医師会主催の「歯の健康まつり」を取りやめ、苫小牧市主催の「健康フェスタとまこまい2017」に歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会として初参加することとなった。

歯科医師会では、歯科健診のほか、口臭測定、咬合力測定といった健診項目を実施した。歯科衛生士会では、ブラッシング指導、顔ヨガ教室、エプロンシアター、歯科技工士会では恒例の模型色塗り体験が行なわれ、それぞれのブースとも多くの市民で賑わいを見せた。



今回が初めての取り組みとなるため、参加者の動向など不透明な部分が多くあったが、大きな問題もなく、執り行なうことができたと思われる。

苫小牧市からの連絡では健康フェスタそのものには1,200名ほどの参加があったとのこと。来年度も参加予定のため、イベント終了後には担当部員による反省会が行なわれ、次年度に向けての検討が早くも開始されていた。(関 俊也 記)

郡歯会主催 社会保険講習会

日時：平成29年9月27日(水) 午後7時より

場所：苫小牧市医師会館 3階講堂

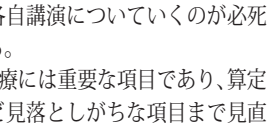
本年度も北海道歯科医師会社会保険(国保)担当の中川英俊 常務理事をお迎えして、標記講習会が執り行なわれた。

中川先生には、多忙なスケジュールの中、来苫していただき、2時間という短い時間ではあるが、濃密な講演をしていただいた。

内容も多岐にわたる、要点だけでもたくさんあったため、各自講演についていくのが必死であったと思われる。

しかし、日々の診療には重要な項目であり、算定項目、掲示事項など見落としがちな項目まで見直す重要な機会となっていると思われる。

(関 俊也 記)



北見

KITAMI

市民歯科健康講座、学校歯科保健講演会
日時：平成29年10月21日(土)
午後3時から午後6時30分

場所：北見歯科医師会館

つげ歯科医院院長、柘植伸平 先生をお招きして前半は、市民歯科健康講座。後半は、会員に向けて学校歯科保健講演会が行なわれた。1日に1回以上歯磨きする子どもの割合は、世界の中で日本が一番高く、砂糖の消費量に比べ、むし歯の率が高いというのが現実だそう。健康な歯・口をつくるために必要な情報を、いつ、誰が、どこで、誰に、どう、伝えたら最も効果的なのか？むし歯・歯周病は、生活習慣病的性格の強い感染症であり、生活習慣の歪みが口の中に現れる。そのために子どもたちの食を、学校、家庭、地域で考えていくことが大切である。

また、学校歯科健診では、検診の信頼性向上のために、判定基準の統一・情報収集・環境整備が大



切。COの取り扱いについて、なるべく歯を削らないで、環境を整えることによって、経過観察することで、思ったよりも、う蝕に対する抵抗性は強く、すぐに穴が開くことはない」と仰っていた。今まで私たちは、いかに何も考えず診断して歯を削っていたかを考えさせられた。(丸子修史 記)

第26回 北見市健康まつり
日時：平成29年10月22日(日)
午前11時から午後4時30分

場所：北見市民会館



標記健康まつりが行なわれ、各コーナーでは、健康に関する相談や、実際に体験できるコーナーがあり、歯科では、歯科医師による口腔内健診を行ない、歯科衛生士と共に口の中での悩み相談を受け、正しい口腔ケアの方法などのアドバイスが行なわれた。また、新鮮な野菜やパンも購入することができ、学校法人栗原

学園進化塾ダンスステージなども披露された。大ホールでは、高齢者の歯のコンクール表彰式が行なわれ、7名の方が表彰された。「こころの健康づくり講演会：ストレス時代を生きる」をテーマに、海原純子 先生を講師としてお招きし、講演会が行われた。悪天候の中、たくさんの市民にご来場いただき、盛況のうちに終わることができた。(丸子修史 記)

社会保険講習会

日時：平成29年10月28日(土)

場所：北見歯科医師会館

道歯会の井谷秀朗常務理事をお迎えし、標記講習会が開催され、今一度再確認という内容が多かったが、基本的な事柄の重要性を再認識させられる内容だった。

初診料の算定要件を良く確認してほしい、保険者から初診の要件を満たしていないと戻って来ることが多数あるとのこと。

また、歯管の算定については、紙出ししない場合でもカルテには管理計画の7項目を記載しなければならないので、歯管の紙を利用した方が簡単。算定誤りの多い事例として、P急発同日のP検査の算定や異日にまたがる全顎撮影法は、デジタルでは算定不可なので1日で撮影するように、また病名不備によるケナログ等の外用薬の処方査定

になるので注意が必要。SPTについては、初回算定時に必ず管理計画書を渡さなければならないので忘れないようにする。Brの除去は、ボンティックの数で算定し切断と書かないようにすること。

歯周治療用装置の修理や歯リハやTコンデは、算定不可。接着Brの支台形成時に、う蝕処置や覆卓の算定は、形成をエナメル質内に留めると規定されており算定すると戻って来ることがある。

衛生士業務記録簿は、実地指導の複写だけではなく、衛生士業務全般の記録簿であり実地指導だけが衛生士の業務ではないので注意が必要。

小白歯の金属裏層ボンティックの人工歯の算定に注意する、Ceは写真でははっきり判断できる位の白濁等が無ければ算定できない、即時義歯とは抜歯と同日に装着する義歯の事である、残根上義歯は根治根面被覆をした残根にしか基本的に算定できないのでできない場合には摘要が必要。

指導で院内掲示の不備を指摘されるケースが多いので、今一度掲示物に足りない物がないか確認

してほしいとのこと。

明日からの診療で適正な保険請求をする上において、大変勉強になる講演だった。(藤井 大 記)



室蘭

MURORAN

(一社)北海道歯科衛生士会室蘭支部 学術講演会
日時：平成29年9月9日(土) 午後2時30分より

場所：室蘭会館 斎藤記念講堂

標記学術講演会が室蘭会の堅田 裕 先生を講師として開催された。室蘭支部の衛生士だけでなく、近隣の衛生士会の方々18名が参加し、室蘭会の会員の先生も講演を聴こうと参加した。

「口腔粘膜の病気に気づいてますか？～口腔粘膜をじっくり観察してみよう～」として、口腔内の解剖から各病変の症状や病名など詳しく、わかりやすく解説しながら講演された。

堅田先生から「歯科衛生士は日常的に患者さんの口腔粘膜をつぶさに観察する機会をもつ職種です」との話があり、「歯科医師だけでなく、メイ

ンテナンスで来る、患者さんの異変に気づけるのも歯科衛生士であり、しっかり観察することが大切である」と話された。堅田先生は口腔がん検診に携わられており、大変勉強になる講演であった。(畠山雄一 記)

「いい歯の日」8020表彰に関する打ち合わせ
日時：平成29年9月13日(水) 午後7時より

場所：伊達市保健センター

10月29日(日)伊達市保健センターにて催される「いい歯の日」8020表彰に関する打合せが行なわれた。室蘭から塚田副会長、藤井公衆衛生部長、畠山広報部長が、胆振西部地区運営協議会から石川幹事長、中村副幹事長、黒田総務幹事が出席した。また、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町の自治体からも担当者が出席した。

塚田副会長の挨拶の後、藤井部長より、事業概要と実施要領が説明された。各自自治体の担当者と活発な意見交換が行なわれ、多数の確認事項が話し合われた。

昨年同様、8020表彰のみの開催となるが、8020表彰の被表彰者の掘り起こしは、毎年わずかしいところがあるので、胆振西部地区の歯科医院



や各自自治体の保健センターでの啓発活動、何かのイベントの折に声掛けをしてもらうなど、各自自治体と共にやっていかなければならないことを確認した。

各自自治体からは、8020表彰だけでは盛り上がりかけるところもあるので何か違う企画も考え、もう少し大きなイベントにできないかといった意見もだされ、来年度以降の課題としていくことを確認し、会議を終えた。(畠山雄一 記)

口腔がん検診

日時：平成29年9月30日(土)

午後2時から午後5時

場所：[伊達会場]伊達市保健センター

[洞爺湖町会場]洞爺湖町健康福祉センター

主催：室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町室蘭歯科医師会

共催：日本口腔外科学会北海道支部

今年度の口腔がん検診事業は昨年同様、伊達会場、洞爺会場で行われた。各会場とも定員いっぱい

の応募者であった。

検診医として多くの先生にご協力いただいた。[伊達会場]北田秀昭 先生(函館中央病院 口腔外科部長)奥村一彦 先生(北海道医療大学歯学部口腔外科学 教授)宮崎晃旦 先生(札幌医科大学医学部口腔外科学 准教授)

出張裕也 先生(札幌医科大学医学部口腔外科学 講師)[洞爺会場]永易裕樹 先生(北海道医療大学歯学部口腔外科学 教授)榎原典幸 先生(日鋼記念病院歯科口腔外科主任科長)

また、各会場では当会会員の検診協力医のほか

に、各自自治体の担当課の職員に受付等の仕事を

していただいた。

一人千円と有料化になってから2度目の検診となったが、申込み数が伊達会場で57人、洞爺会場で24人、両会場で受信者75人となった。その中で要精査数30人という検診結果であった。検診後の総評、意見交換では、検診医や検診協力医となっている当会会員の先生方より、感想や活発な意見がだされていた。検診は検診医が行なうが、ダブルチェックということで、実際、検診協力医にも口腔内の状態を検診してもらい、検診医からの解説をもらえるのでとても良い経験となった、勉強になったという意見が多かった。

10月7日(土)には室蘭会場、登別会場



小樽

OTARU

小樽市三師会総会

日時：平成29年10月28日(土) 午後6時より

場所：ニュー三幸

秋終盤ながら上着を着ようか迷ってしまうほどの好天に恵まれたこの日、標記総会が開催された。出席者は来賓4名、医歯薬



各会会員・事務方62名、合計66名であった。

今年の総会担当は当会。市村昌久会長の開会の辞で、総会が始まった。来賓紹介の後、阿久津光之小樽市医師会会長より、認知症対策である新オレンジプランにおいてサポート医師・サポート歯科医師・サポート薬剤師の養成が求められており、より一層三師会の重要性が増しているとの旨のご挨拶をいただいた。続いて、来賓である森井秀明 小樽市長より祝辞をいただき、その後、講演がなされた。

講師は菅田忠夫 小樽市医師会理事、演題は「地域医療研究会 全国大会 in魚沼 参加報告」であった。医療のみならず、地域作りにまで及ぶ魚沼市の地域包括ケアシステムに対する取り組みが報告された。

講演終了後、懇親会が行なわれた。桂 正俊 小樽薬剤師会会長の挨拶で開宴。鈴木喜明 小樽市議会議長による祝杯の後、祝宴に入った。会場が和んできた頃、中村裕之 衆議院議員と八田盛茂 道議会議員が到着。お忙しい中、来ていただき、それぞれ祝辞をいただいた。

宴が佳境に入ったところで、総会前に行なわれた麻雀大会・ボーリング大会の結果発表が行なわれた。当会から5人が入賞したが、優勝者・準優勝者はなく、総合で最下位となってしまった。来年の奮起が望まれる。

宴は、ますます盛り上がりを見せていったが、時間が迫ってきたため鈴木敏夫 小樽市医師会副会長の万歳三唱で、中締めとなった。(野 隆広 記)

平成29年度社会保険勉強会

日時：平成29年11月2日(木) 午後7時30分より

場所：小樽市歯科医師会館

社会保険常任委員会理事の平井 晃 先生による社会保険勉強会が行なわれた。

今回は、医科歯科連携である周術期口腔機能管理について、算定要件・管理計画書の作成・病名・前回の改定での変更点等について、わかりやすく



解説された。

多くの会員が参加し、活発に質疑応答が行なわれ、盛況のうちに終了した。(山口大樹 記)

釧路

KUSHIRO

2017 くしろ健康まつり

日程：平成29年10月15日(日)

場所：釧路市観光国際交流センター

秋空の日曜日、今年も「2017くしろ健康まつり」が開催された。当日は晴天に恵まれ、朝からたくさん

の来場者で賑わった。

当日の朝は大島副会長より挨拶があり、その後、歯科健診・プラーク検査・口臭検査・咬合力検査・フッ素洗口体験・口腔がん検診・在宅医療相談などのコーナーに分かれ、午後3時まで多くの来場者の相談や指導にあたった。



さらに、今年も歯科衛生士会から14名の協力をいただき、歯磨き指導やむし歯予防の啓発活動などに尽力いただいた。

8020表彰式では受賞者31名中27名の来場があり、多くの歯科医院から推薦された方が笑顔で授賞式にのぞま

れていた。

最後に辻 副会長より労いの挨拶があり、今年

の健康まつりは閉幕した。

参加会員は30名。来年もより多くの先生の参加により「まつり」を盛り上げたい。(山本 記)

学術講演会

日時：平成29年10月28日(土) 午後3時より

場所：釧路会館大講堂

標記講演会を開催し、今回は、北海道がんセンター口腔腫瘍外科医長の上田倫弘 先生をお招きして、「10年後の医療をめざして ― 技術の発展と医療連携の充実 ―」と題して、講演していただいた。

前半は、来る2025年問題に対して、われわれ歯科医師は在宅での既往歴を有する患者の対応に迫られ、そのためには他職種連携を図る必要があり、相互に理解するための医学的基礎知識について、講演いただいた。

後半は、免疫チェックポイント阻害薬を始めとした、最新の口腔がん治療のお話や、切除再建等の動画を供覧していただいた。

会員一同、普段目にすることのない動画に驚くと同時に、臨床ですぐに役立つ知識を得ることができ、非常に有意義な講演となった。

(道念正樹 記)

